

## 1 - 1 北海道東南部における上下変動

### Vertical Movement in the Southern Part of East Hokkaido

国土地理院 地殻活動調査室 測地部  
Crustal Activity Research Office  
and Geodetic Division,  
Geographical Survey Institute

北海道東部の地殻変動は既に本会報<sup>(1)</sup>に報告されている。釧路－花咲の検潮所の年平均潮位差からみた同域の上下変動は1970年の水準測量が花咲検潮所にとりつけていないため水準測量と直接比較できなかったが、1972年花咲検潮所への取付け水準が実施されたのでその結果を報告する。

第1図は花咲、釧路、浦河の年平均潮位及び釧路－花咲、浦河－花咲の年平均潮位差である。この結果釧路－花咲間では地殻上下変動が最近約15年間にわたり、見かけ上殆んど変化していないことがわかる。これは、釧路－花咲、浦河－花咲の最近の月平均潮位にもあらわれている。

第2図は、釧路検潮所と花咲検潮所を結んだ水準測量結果で、1953年以降の上下変動を示す。釧路検潮所は白糠町J7599に比べて地盤沈下のため最近16年間で13cm沈下している。一方、花咲検潮所は地殻変動のため、最近19年間でJ7599よりも15cm沈下しているので、両検潮所の検潮記録は見かけ上変化していないように見える。釧路の地盤沈下を考慮すると、北海道南東部は東下がり傾向であり、今迄の水準測量の結果<sup>(1)</sup>と矛盾しない。

#### 参 考 文 献

(1) 国土地理院，地殻活動調査室

北海道東部地方の地殻変動について，地震予知連絡会々報，第7巻，1～3，（1972）

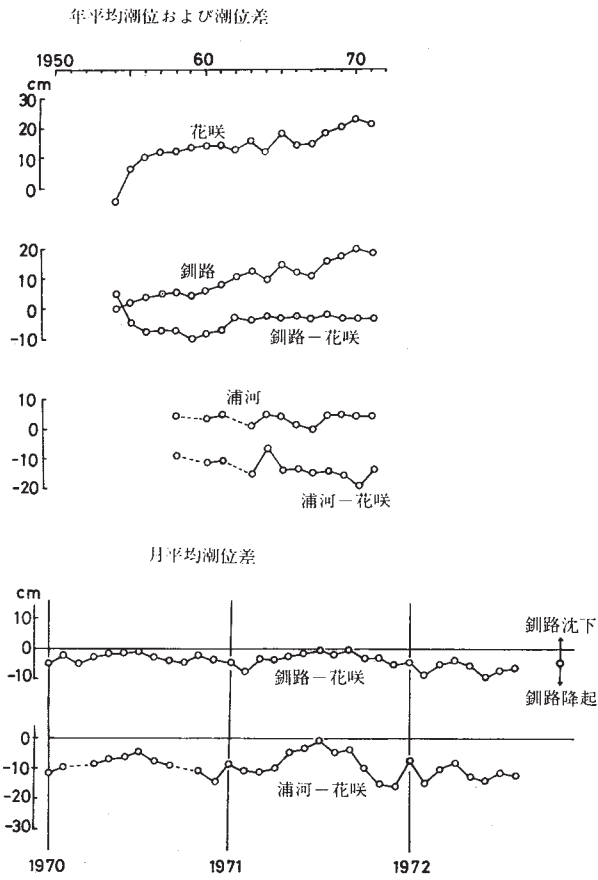


図1；釧路-花咲と浦河-花咲の年平均潮位差と月平均潮位差

Fig. 1 The differences of the annual and the monthly mean sea levels between Kushiro or Urakawa and Hanasaki

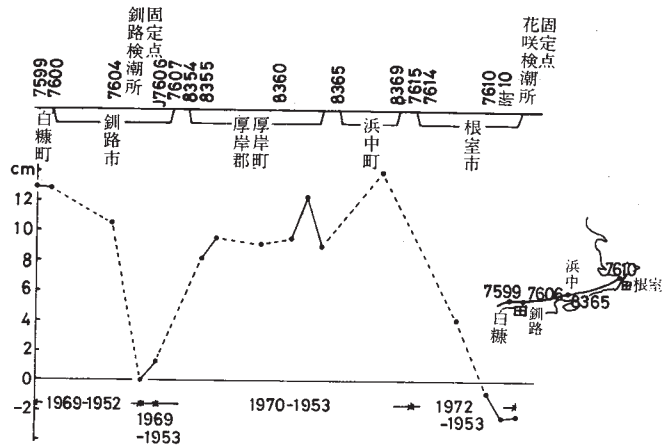


図2；釧路検潮所と花咲検潮所間の水準測量

Fig. 2 The result of levelling survey between Kushiro and Hanasaki tidal station